

【OIE 情報】 ルーマニアにおける牛海綿状脳症 (BSE) (非定型、L 型) の発生について

ルーマニアにおける初の牛海綿状脳症 (BSE) (非定型、L 型) の発生について、OIE へ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国とルーマニアとの間に偶蹄類動物及びそれらの動物由来の食肉等の家畜衛生条件はありません。

出典：OIE ウェブサイト (2014 年 6 月 20 日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=15456

(OIE 情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数：1 件 (緊急報告)
- ・発生日：2014 年 5 月 6 日
- ・OIE への報告日：2014 年 6 月 20 日
- ・ルーマニアにおける初の発生
- ・非定型 (L 型)
- ・臨床徴候は認められていない (と畜場での検査)

【発生状況】

- ・ルーマニア クルジュ県 キンテニ Deusu Deusu

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛		1	0	0	0

- ・と畜場で検査陽性

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・疫学調査を実施中

【対応】

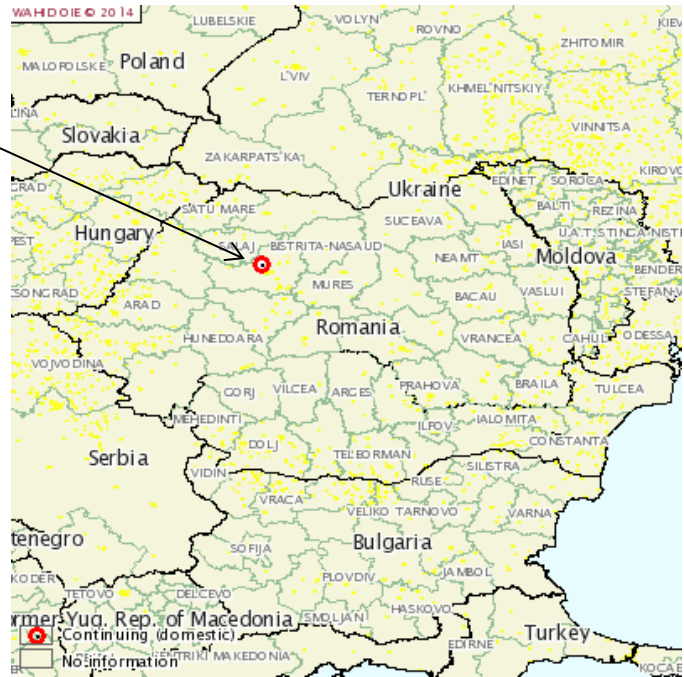
- ・国内移動制限
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：Institute for Diagnosis and Animal Health (国立研究所)
- ・診断方法：ウェスタンブロット：陽性 (2014 年 6 月 9 日)
- ・診断施設：英国ウェイブリッジ研究所 (OIE リファレンスラボラトリー)
- ・診断方法：ウェスタンブロット、免疫組織化学：陽性 (2014 年 6 月 12 日)

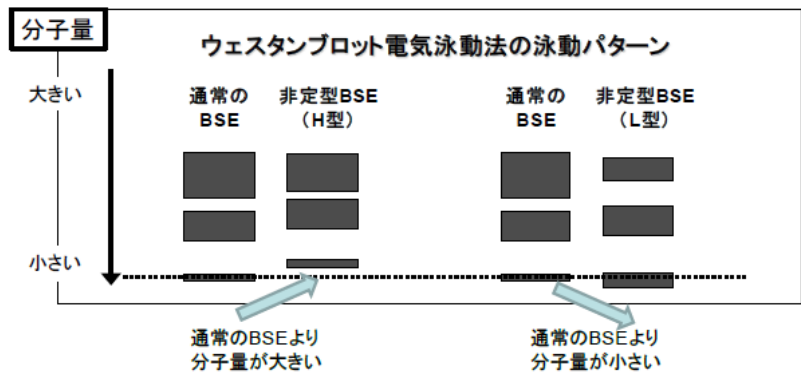
【参考1】発生地図

2014年5月6日
クルジュ県 キンテニ
牛1頭



【参考2】非定型BSEとは

- ・ウェスタンブロット法によるBSEの確定診断の結果（電気泳動像）が、従来のBSEとは異なるパターンを示すBSE症例が、2003年以降、各国で確認されており、非定型BSEと呼ばれている。



出典：Dr James Hope, Centre for Epidemiology and Risk Analysis, Veterinary Laboratory Agency Lاسwade, UK

- ・非定型BSEは、従来のBSEと比較して世界でも確認されている症例数は少ないが、食品安全委員会によると日本の一例を除き、ほとんどの非定型BSEは、8歳を超える高齢牛で確認されており、年齢の幅は6.3~18歳と報告されている。
- ・食品安全委員会によると、現時点では非定型BSEの起源は明らかになっていない。EUでは汚染された飼料による可能性を排除することはできないとする一方で、フランスでの非定型BSEの発生頭数の分布から、これまでの定型BSE（通常のBSE）とは異なり特定の出生年との関連が認められていないため、孤発型（原因不明で発症するもの）のプリオン病との解釈も示されている。